

事務事業名		総合交流ターミナル維持管理事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実						01	06	01	07	00
根拠法令												
所属	部課名	農林水産部 農林課										
	課長名	田中 聖一										
	係名	農政係	電話	27-3111								
	担当者	佐々木 智紘	内線	7124								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・当市は「椿の里」として椿をキャッチフレーズとした街づくりが進められており、椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として総合交流ターミナル施設(世界の椿館・基石)が整備された。 ・地域の有利な気象条件を活かした花きの生産振興を図るとともに、同地区内の碁石海岸と併せて、都市圏からの観光客の集客の向上を目的としている。 ・当事業は、総合交流ターミナル施設「世界の椿館・碁石」の運営維持管理、入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を大船渡市農業協同組合に委託する事業である。						総 投 入 量 (千円)	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金			
									都道府県支出金			
									地方債			
									その他			
									一般財源			
									事業費計(A)	0		
人 件 費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計(B)	0										
	トータルコスト(A)+(B)	0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
	大船渡市農業協同組合に入館料及び使用料の徴収・保管管理事務を委託(人件費、施設管理費、花卉維持管理費、車両維持管理費、光熱水費等)	
	今年度計画(今年度に計画している主な活動)	
	前年度に同じ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	大船渡市農業協同組合	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	施設の適正な管理を行い、多くの観光客に入館してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
大船渡市を訪れてもらう。		

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	899					
			地方債	千 円						
			その他	千 円	3,168	5,394	4,240	5,568	5,080	5,180
			一般財源	千 円	17,754	16,793	18,530	19,362	17,505	17,406
	事業費計（A）		千 円	21,821	22,187	22,770	24,930	22,585	22,586	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計（B）	千 円	400	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	22,221	22,587	23,170	25,330	22,985	22,986
⑤活動指標		ア	千円	3,168	5,394	4,240	5,568	5,171	5,600	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	m ²	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	4179.1	
		キ	人	10,853	20,976	19,590	24,888	21,000	22,000	
		ク								
⑦成果指標		サ	%	46.2	193.2	93.4	127.0	84.4	104.8	
		シ	件	10	10	10	9	8	7	
		ス								

事務事業ID	0529	事務事業名	総合交流ターミナル維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
・「椿の里」として椿をキャッチフレーズとした街づくりが進められており、平成9年度に椿を中心に花を題材とした交流施設の整備として当施設が建設された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・開館当初に比べると入場者は減少傾向にあり、特に椿の非開花時期の集客対策を講じている状況にある。(GW中の無料開館、花っこinおふなと、さつき展、盆栽展の開催等)			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
椿が開花していない時期の入館料の無料化が望む意見がある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	市の花である椿をはじめとした花卉に接する機会を増やすことにより、大船渡市のイメージシンボルとして「椿」が位置づけられるようになることによって、観光客が増大し、地域資源を活用した観光の振興が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市の観光のシンボルとして「椿」を定着させることによって、観光地としての大船渡をPRすることができ、観光産業だけでなく、花き生産地として複合的に振興を図ることができる。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大船渡市農業協同組合が施設を適正に管理するようになること、椿館が魅力ある施設となること、利用者が施設をたくさん利用するようになることが、それぞれ対象及び意図であることから、対象と意図は適切である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	非開花時期のイベント開催やつばきまつりの早期企画立案による旅行会社へのPRなどができれば、成果の向上余地はある。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	基石の観光スポットが減少するため、観光地としての魅力が低下する。 基石観光の冬の重要な観光スポットであり、事業の廃止、休止は不可能。 委託先は花卉栽培等の専門性を有することが必要(農協への委託は妥当)。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	椿館に関する事業は他にない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は施設及び花卉の維持管理費が中心となっているため、事業費削減が施設の質を低下させることにつながり、事業費の削減は適当でない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	入館料を指定管理者である大船渡市農業協同組合の収入とし、また、施設修繕に係る経費を指定管理料に含めるなどし、指定管理者の裁量により管理運営することで、業務時間を削減できる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	受益者(入場者)から入場料を徴収している。入場料の額(通常一般個人500円・シーズンオフ一般個人200円)は適切であり、受益者負担は適正である。	

事務事業ID	0529	事務事業名	総合交流ターミナル維持管理事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・椿の開花時期はもとより、オフシーズンについても集客できる効果的なイベントを企画する必要がある。																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・インフォメーションセンターやオートキャンプ場などの周辺施設との連携してイベントを検討する。 ・オフシーズンでも来場したくなるような魅力的なイベントを企画する必要がある。																							
		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	田中 聖一
-------	------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 ・これまでも、椿の花の咲いていない期間の集客対策は講じてきたが、さらに検討する必要がある。 ・施設の運営を市農協にすべてお願いすることは検討時間を要する。																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する中で、解決策を検討していく。 平成9年度から事業を実施しているが、椿が生長し、施設自体が手狭になってきている。椿にとって十分な生育環境となっていないことから、路地での展示、養生施設等、施設の拡充が必要である。																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
